

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	数学	科目	数学C	学年	第3学年	類型	II型理系選択
単位数	3単位	教科書	新編 数学C（数研出版）				
補助教材	ニューステージ数学演習 I・A+II・B・C（数研出版）						

学習目標	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てるようにします。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1章 平面上のベクトル	平面ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	中間考査
	5月	第1節 ベクトルとその演算		
	6月	第2節 ベクトルと平面図形	空間ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	期末考査
	7月	第2章 空間のベクトル		
2 学期	8月	第3章 複素数平面	複素数平面の基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	中間考査 期末考査
	9月	第4章 式と曲線		
	10月		第1節 2次曲線	
	11月		第2節 媒介変数表示と極座標	
	12月			
3 学期	1月	総合演習	問題演習等	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。単に公式を覚えて解くものではありません。なぜこのような解法になるのか、自分の力で説明できるかなど、数学的な考え方を身に付けることが大切です。日常生活の中で起こる数学的な考え方に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
		基本的な概念、原理・法則、用語・記号などの知識とともに、事象を数学的に表現・処理し、推論する技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行います。平常点は、提出物（課題、ノート等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価します。		